

# 明治安田インフォメーション 2017 vol.2

2017年度上半期業績のお知らせ



# 明治安田生命は「人に一番やさしい生命保険会社」をめざしています。



当社は創業以来、相互扶助の精神のもと、わが国生命保険事業のパイオニアとして、お客さまそして地域社会とともに歩んできました。わが国を取り巻く環境がめまぐるしく変化するなか、社会保障制度を補完し、自助努力を支える生命保険会社として、これからも確かな安心をお届けしてまいります。

2017年度上半期のグループおよび単体の基礎利益は、明治安田生命発足以来、過去最高益となるなど、高い収益性と健全性を確保・維持することができました。

当社は2017年4月に経営理念および企業ビジョンを刷新し、明治安田3ヵ年プログラム「MYイノベーション2020」をスタートしました。「お客さまとの絆」・「地域社会との絆」・「働く仲間との絆」の3つの絆を大切に、

企業ビジョンとして掲げる「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」をめざしてまいります。

これからも、全国3万人を超えるMYライフプランアドバイザー、企業・団体を担当させていただく約1千人の営業担当者を中心に、きめ細やかであたたかい「対面のアフターフォロー」を通じて、みなさまに「人に一番やさしい生命保険会社」を実感いただけるよう努めてまいります。

引き続き、ご安心いただき、末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

社長 **根岸 秋男**

## INDEX

<b>2017年度上半期のグループおよび単体の基礎利益は過去最高益となりました。</b> 明治安田生命グループ全体で成長を続け、「高い収益性」を確保し「企業価値の向上」に努めることで、これからも確かな安心をお届けしてまいります。	詳しくは <b>P.3～P.4</b>
<b>財務基盤の強化等を通じて、高い健全性を維持しています。</b> 「健全な財務基盤の維持」に努めることで、確実な保険金・給付金のお支払いという安心をお届けしてまいります。	詳しくは <b>P.5～P.6</b>
<b>対面のアフターフォローといえば明治安田生命。お客さまにそう感じていただくために。</b> 生命保険の真の価値は、長期にわたる継続的なサービスの積み重ね、「アフターフォロー」にあると考えています。これからも私たちはお客さまに寄り添い続けます。	詳しくは <b>P.7～P.8</b>
<b>「明治安田生命Jリーグ」の応援を通じて、地域に貢献するための活動を行なっています。</b> 地域がより元気になり、そこに住む子どもたちが健やかに育ってほしい。私たちは、そう考えています。	詳しくは <b>P.9～P.10</b>
<b>やさしさをお届けするため、従業員が一体となって地域に密着した取組みを行なっています。</b> お客さまや地域社会のお役に立つために。「やさしさとは何か」を従業員一人ひとりがしっかりと考えています。	詳しくは <b>P.11～P.12</b>

明治安田生命グループ全体で成長を続け、  
「高い収益性」を確保し  
「企業価値の向上」に努めることで、  
これからも確かな安心をお届けしてまいります。

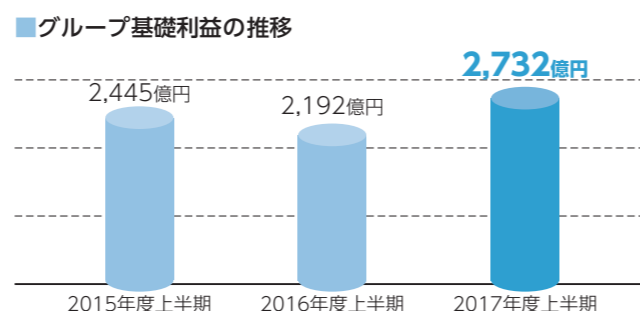
明治安田生命ビルと明治生命館(東京都千代田区丸の内)

## 2017年度上半期のグループおよび単体の基礎利益は過去最高益となりました。

### ●グループ業績

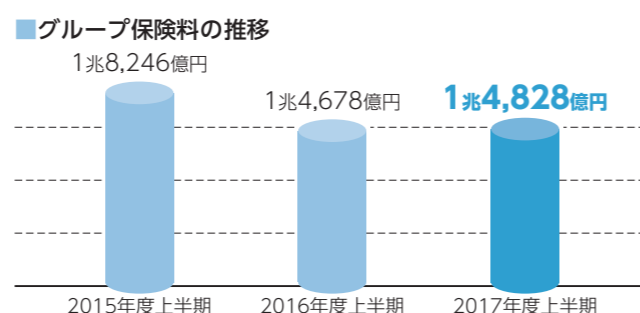
グループ基礎利益<sup>※1</sup>  
**2,732億円**

グループ基礎利益は、2,732億円と、24.7%増加し、明治安田生命発足以来、過去最高益となりました。これは、利息及び配当金等収入の増加等によるものです。



グループ保険料<sup>※2</sup>  
**1兆4,828億円**

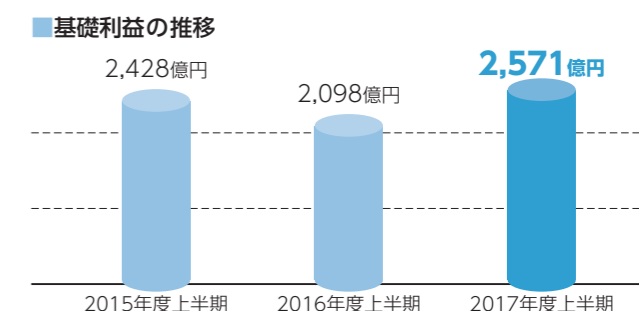
グループ保険料は、1兆4,828億円と、1.0%増加しました。これは、スタンコープ社による貢献額の増加等によるものです。



### ●明治安田生命単体業績

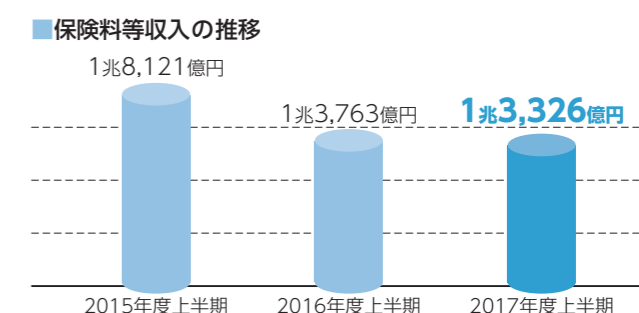
基礎利益<sup>※3</sup>  
**2,571億円**

明治安田生命単体の基礎利益は、2,571億円と、22.5%増加し、明治安田生命発足以来、過去最高益となりました。



保険料等収入<sup>※4</sup>  
**1兆3,326億円**

明治安田生命単体の保険料等収入は、1兆3,326億円と、3.2%減少しました。



業績はスマートフォン・PCにて  
動画でもご確認いただけます



[QRコード]



「2017年度上半期業績のご報告」  
ご説明動画のイメージ

※1 明治安田生命単体の基礎利益(※3参照)に、連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命単体の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算しています。

※2 連結損益計算書上の保険料等収入

※3 保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表す指標。2017年度上半期の開示から、基礎利益の開示方法を一部変更しています。(P.14参照)

※4 ご契約者から実際にお払いいただいた収入保険料(および再保険収入)による収益



明治安田生命新東陽町ビル(東京都 江東区)※1



明治安田生命事務センタービル(東京都 豊島区)※2

「健全な財務基盤の維持」に努めることで、  
 確実な保険金・給付金のお支払いという安心を  
 お届けしてまいります。

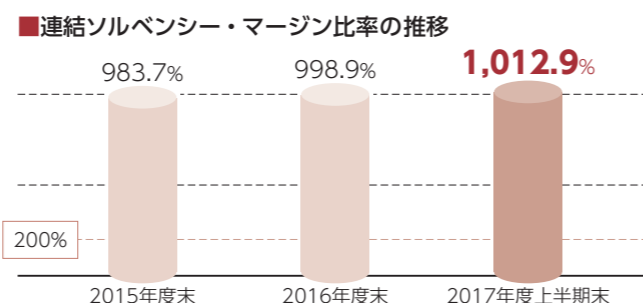
## 財務基盤の強化等を通じて、 高い健全性を維持しています。

入居部署  
 ※1 個人保険事務および情報システム関連等  
 ※2 団体保険・団体年金事務およびコミュニケーションセンター等

### 連結ソルベンシー・マージン比率

1,012.9%

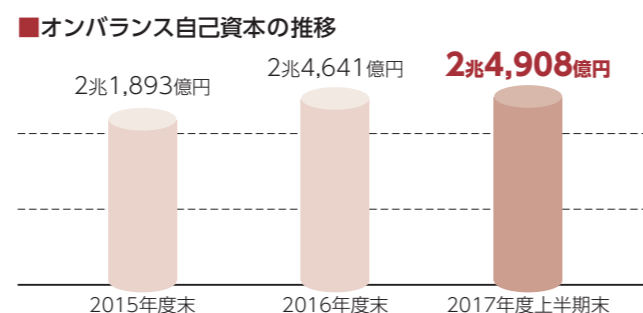
株価の暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。引き続き、高い水準を維持しています。



### オンバランス自己資本

(明治安田生命単体)  
 2兆4,908億円

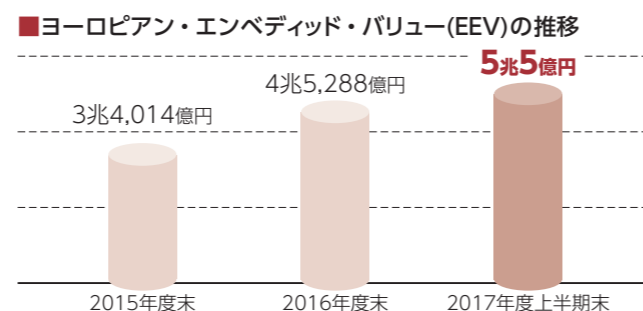
当社では、所定の内部留保と外部調達資本の合計をオンバランス自己資本と位置付けています。さまざまなリスクに備え自己資本の着実な積み増しに努めています。



### ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)

5兆5億円

企業価値を表すヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)は、5兆5億円と大幅に増加しました。



### 格付(明治安田生命単体)

会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。引き続き、格付会社から高い評価を受けています。

(2017年11月1日現在)

\*「保険金支払能力」「保険金支払能力格付」は、保険会社の保険債務が約定どおりに履行される確実性についての意見です。「保険財務格付」は、保険契約に基づく優先債務を遅滞なく履行する保険会社の能力に関する意見です。「保険財務力格付け」は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です。\*右記の格付は、当社が依頼して取得したものです。\*記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です。\*格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません。\*格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 **AA-**

日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 **A+**

ムーディーズ(Moody's) 保険財務格付 **A1**

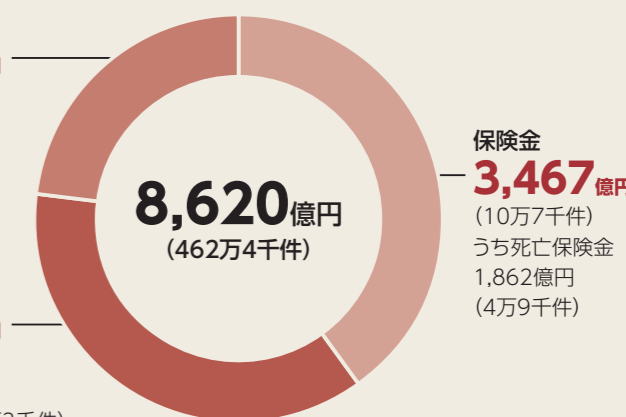
S&P 保険財務力格付け **A**

### お役に立った保険金・年金・給付金

8,620億円

2017年度上半期にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は、8,620億円、1日あたりのお支払いは約47億円でした。これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまのお役に立てるように確かな安心をお届けしてまいります。

給付金 **1,974億円**  
 (122万1千件)  
 うち入院給付金・手術給付金 247億円 (28万6千件)  
 年金 **3,177億円**  
 (329万5千件)  
 うち個人年金 1,854億円 (34万3千件)



(2017年度上半期)

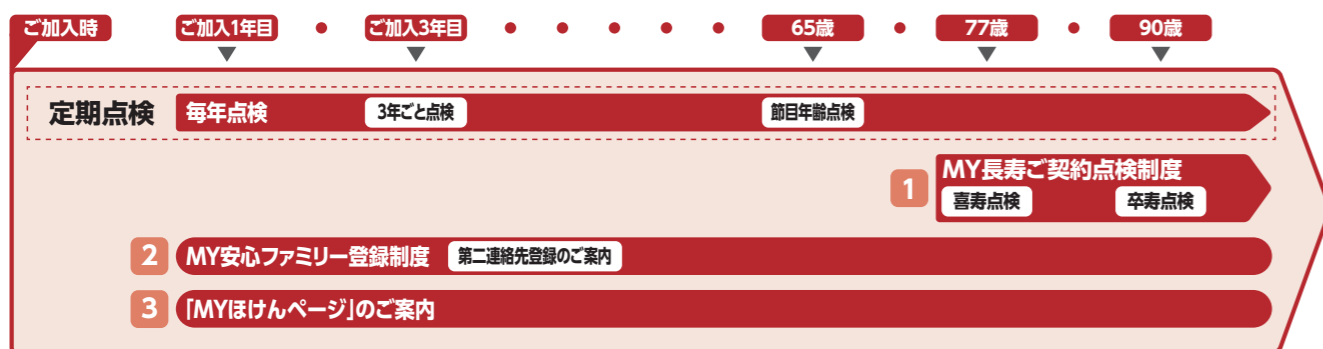


アフターフォロー テレビCM出演中の松坂桃李さんと宮藤官九郎さん

生命保険の真の価値は、  
長期にわたる継続的なサービスの積み重ね、  
「アフターフォロー」にあると考えています。  
これからも私たちはお客さまに  
寄り添い続けます。

## 対面のアフターフォローといえば明治安田生命。 お客さまにそう感じていただくために。

保険のご加入からご契約の終了まで、  
“対面のアフターフォロー”で安心をお届けします。



### 1 MY長寿ご契約点検制度

超高齢社会における保険金・給付金のお支払いを確実にするための取組みを進めています。

長寿のお祝い等の節目に、当社からはがきやお電話を差しあげ、保険金等のご請求やご連絡先・受取人変更の有無を確認する当社独自の点検制度です。

#### パンフレットを制作しました

当制度を開始した  
当社の想いや2年  
間の取組み状況、  
お客さまの声等を  
まとめたパンフレット  
をお届けしています。



(2017年7月作成)

パンフレットのお届けをご希望の方は、担当のMYライフプランアドバイザーまたはコミュニケーションセンターにお申し付けください。



### 2 MY安心ファミリー登録制度

高齢のご契約者への連絡や大規模災害時におけるご契約者への連絡を確実にするための取組みを進めています。

あらかじめご契約者以外の連絡先(第二連絡先)をご登録いただくことで、ご契約者との連絡が困難な場合等に、第二連絡先を通じてご契約者の最新の連絡先をご確認させていただく制度です。

下記ケース等で連絡がとれない場合



2014年10月以降、約160万人のご登録をいただいています。(2017年9月末時点)

### 3 「MYほけんページ」のご案内

ご契約者専用WEBサイトでは、さまざまなサービスをご利用いただけます。

当社公式ホームページからご登録いただくことで、2017年から販売を開始した外貨建保険商品を含むご契約内容の確認や一部のお手続きが可能です。また、「セカンドオピニオンサービス※」や「24時間健康相談サービス」など、健康・医療・介護等のサービスをご利用いただけます。

※ ベストスタイル加入者(被保険者)専用サービス

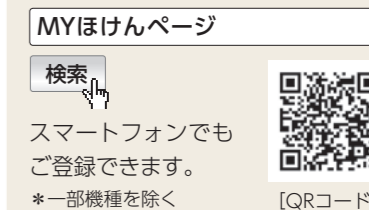
#### テレビCM出演中のふたりと根岸社長の座談会リーフレットをお届けしています

当社の企業ビジョン「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」にも通じる、「人に“やさしい”ってなんだろう？」をテーマに座談会を実施しました。



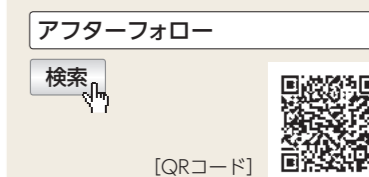
リーフレットのお届けをご希望の方は、担当のMYライフプランアドバイザーにお申し付けください。

#### 「MYほけんページ」のご案内



#### 当社公式ホームページのご案内

アフターフォローに関する当社の取組みやテレビCM等の情報を当社公式ホームページからご覧いただけます。



地域がより元気になり、  
そこに住む子どもたちが健やかに育ってほしい。  
私たちは、そう考えています。



明治安田生命ベストスタイルマッチ  
2017.5.21 MONTEDIO YAMAGATA vs RENOFA YAMAGUCHI FC  
モンテディオ山形の試合の様子(山形支社)  
©MONTEDIO YAMAGATA

## 「明治安田生命Jリーグ」の応援を通じて、 地域に貢献するための活動を行っています。

### 「全員がサポーター」を合言葉に Jリーグ・Jクラブ等を応援しています。

地域から日本を元気にしたい。この想いのもと、私たちはJリーグ全54クラブ等\*を応援しています。2017シーズンは、11月中旬までに当社従業員とお客さまあわせて約24万人がスタジアムに足を運びました。今後もJリーグとともに地域社会を盛り上げていけるよう努力してまいります。

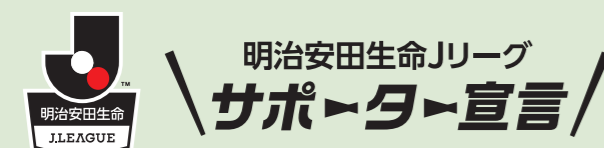
\*近隣にJクラブがない場合は、JFLに所属しているクラブ

### 小学生を対象としたサッカー教室や、 各種イベントを開催しています。

地元のJクラブ等のみなさまの全面協力を得て、2017シーズンは、小学生を対象にしたサッカー教室を10月末までに全国で121回開催し、約1万1千人のお子さまや保護者の方々に参加いただきました。あわせて、地元Jクラブやパートナー企業等のご協力のもとフットサル大会やJリーグ選手OBの講演会等のイベントも開催しています。



小学生向けサッカー教室の様子(沖縄支社)



Jリーグ  
全54クラブ  
を応援しています

#### 各支社が地元のJ1・J2・J3のクラブを応援しています

明治安田生命 J1 LEAGUE  
アルビレックス新潟 (新潟支社)

明治安田生命 J2 LEAGUE  
ファジアーノ岡山 (根岸社長と岡山支社)

明治安田生命 J3 LEAGUE  
AC長野パルセイロ (長野支社)

### 「明治安田生命Jリーグ女子倶楽部」を自主的に結成し、 女性ならではの視点でJリーグを応援しています。

当社女性従業員が中心となり、女性ならではの視点でJリーグを盛り上げようと、全国各組織で「明治安田生命Jリーグ女子倶楽部」を自主的に結成しています。試合観戦だけではなく、サッカーへの興味・関心を高め応援の輪を広げていくために、さまざまな活動に取り組んでいます。



「明治安田生命Jリーグ女子倶楽部」の活動の様子



「あしながチャリティー&ウォーク」の様子(2016年度・東京開催)

お客さまや地域社会のお役に立つために。  
「やさしさとは何か」を従業員一人ひとりが  
しっかりと考えています。

## やさしさをお届けするため、 従業員が一体となって地域に密着した取組みを行なっています。

### 従業員等が参加するウォーキングとチャリティー募金を通じ、 親をなくした子どもたちの進学と心のケア支援を行なっています。

あしなが育英会のご協力のもと2011年度からスタートした「あしながチャリティー&ウォーク」は、今では毎年従業員とその家族等約3万8千人が参加する活動となりました。今後も支援の輪を育み、本活動を通じて、親をなくした子どもたちの進学と心のケア支援を行なってまいります。



「あしながチャリティー&ウォーク」の様子  
(2016年度・宮崎開催)

### 全国のMYライフプランアドバイザーが、 日々のお客さま訪問活動を通じて地域を見守っています。

日々のお客さま訪問活動のなかで、お子さまやご高齢者等の様子が変わったことや気付いたことがあれば、警察署・地方自治体の窓口等に連絡することで、地域の安心・安全を見守っています。



従業員が常時携行するカード

### お客さまへやさしさをお届けするために。 日々、全国の仲間が想いを巡らせています。

従業員のさまざまな自発的取組みを全国の仲間と共有し、多くのお客さまにやさしさを感じていただけるように日々取り組んでいます。



一例：手書きのメッセージカード

### 地方自治体等と協力し、 地方創生に向けた取組みを進めています。

地方自治体や金融機関等と地方創生に関する連携協定を締結し、地域社会への貢献活動に取り組んでいます。当社従業員による地域の安心・安全を見守る活動や健康づくりに関する活動等も含め、地域の特性やニーズにあわせた取組みを行なっています。



高知県との「包括連携協定」締結式の様子

### 全国の事業所で、 障がいのある方々との協働を進めています。

さまざまな障がいのある方々が、やりがいを持って生き活きと働くことができるように、全国の事業所で雇用の機会を幅広く提供しています。2017年6月には障がい者雇用を促進するための新会社「明治安田ビジネスプラス株式会社」を設立しました。



明治安田ビジネスプラス(株)の従業員等

### その他の地域社会貢献の取組み

#### さまざまなボランティア活動



従業員が(公財)日本盲導犬協会とともに行った募金活動の様子

従業員が積極的に地域に根差したさまざまなボランティア活動に取り組んでいます。

#### 未来を奏でる教室



未来を奏でる教室の様子

作曲家の三枝成彰氏による音楽授業を全国の小中学校で開催しています。

#### ふれあいコンサート



ふれあいコンサートの様子

ザ・ワイルドワンズの鳥塚しげき氏による手作りのコンサートを全国各地の特別支援学校等で開催しています。

# DATA FILE 明治安田生命単体の数値

貸借対照表(要旨)				
(単位:億円)				
科目	2016年度末	2017年度 上半期末		
資産の部	現金及び預貯金	3,235	4,160	
	コールローン	900	900	
	買入金銭債権	2,201	2,232	
	金銭の信託	—	26	
	有価証券	308,634	312,707	
	うち公社債	171,222	171,892	
	うち株式	42,792	44,285	
	うち外国証券	87,035	88,275	
	貸付金	46,819	46,073	
	有形固定資産	8,824	8,777	
	無形固定資産	769	748	
	その他資産	3,580	3,482	
	前払年金費用	708	788	
	貸倒引当金	△58	△51	
<b>資産の部合計</b>	<b>375,614</b>	<b>379,845</b>		
負債の部	保険契約準備金	317,316	320,086	
	支払備金	1,114	1,083	
	責任準備金	313,832	315,949	
	社員配当準備金	2,369	3,053	
	社債	3,533	3,533	
	その他負債	4,227	3,916	
	偶発損失引当金	0	0	
	価格変動準備金	5,775	6,465	
	繰延税金負債	3,387	3,895	
	再評価に係る繰延税金負債	799	799	
	<b>負債の部合計</b>	<b>335,038</b>	<b>338,695</b>	
純資産の部	基金	3,100	2,600	
	基金償却積立金	5,200	6,200	
	再評価積立金	4	4	
	剰余金	5,383	3,694	
	損失填補準備金	103	109	
	その他剰余金	5,280	3,585	
	うち中間未処分剰余金	(注) 2,372	1,031	
	基金等合計	13,688	12,499	
	その他有価証券評価差額金	25,338	27,133	
	繰延ヘッジ損益	378	347	
	土地再評価差額金	1,170	1,170	
	評価・換算差額等合計	26,887	28,650	
	<b>純資産の部合計</b>	<b>40,576</b>	<b>41,150</b>	
	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>375,614</b>	<b>379,845</b>	

(注) 当期末処分剰余金を記載しています。

損益計算書(要旨)			
(単位:億円)			
科目	2016年度 上半期	2017年度 上半期	
<b>①経常収益</b>	<b>18,199</b>	<b>18,295</b>	
保険料等収入	13,763	13,326	
うち保険料	13,756	13,323	
資産運用収益	3,819	4,424	
うち利息及び配当金等収入	3,438	3,758	
うち有価証券売却益	84	30	
その他経常収益	616	544	
<b>②経常費用</b>	<b>17,469</b>	<b>16,475</b>	
保険金等支払金	10,866	11,047	
うち保険金	2,702	3,467	
うち年金	3,178	3,177	
うち給付金	2,074	1,974	
責任準備金等繰入額	2,425	2,117	
資産運用費用	1,619	781	
うち有価証券売却損	267	103	
うち有価証券評価損	632	5	
うち金融派生商品費用	344	456	
事業費	1,789	1,812	
その他経常費用	768	717	
<b>③経常利益(=①-②)</b>	<b>729</b>	<b>1,820</b>	
<b>④特別利益</b>	<b>551</b>	<b>—</b>	
価格変動準備金戻入額	551	—	
<b>⑤特別損失</b>	<b>12</b>	<b>700</b>	
うち固定資産等処分損	6	5	
うち減損損失	3	0	
うち価格変動準備金繰入額	—	689	
<b>⑥税引前中間純剰余(=③+④-⑤)</b>	<b>1,268</b>	<b>1,119</b>	
<b>⑦法人税等合計</b>	<b>136</b>	<b>92</b>	
法人税及び住民税	39	269	
法人税等調整額	97	△176	
<b>⑧中間純剰余(=⑥-⑦)</b>	<b>1,131</b>	<b>1,027</b>	

有価証券の含み損益(一般勘定)			
(単位:億円)			
区分	2016年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益(注1)
公社債	165,157	191,035	25,877
株式	16,703	40,186	23,482
外国証券	67,004	73,745	6,741
<b>その他共計(注2)</b>	<b>255,166</b>	<b>311,835</b>	<b>56,669</b>

(注1) 売買目的有価証券以外の有価証券のうち、時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載しています。  
(注2) 「その他共計」には買入金銭債権等を含んでいます。

基礎利益(注1) P.4に掲載		
(単位:億円)		
項目	2016年度 上半期	2017年度 上半期
<b>基礎利益 A[①-②]</b>	<b>2,098</b>	<b>2,571</b>
<b>①基礎収益</b>	<b>18,113</b>	<b>18,264</b>
保険料等収入	13,763	13,326
資産運用収益(注2)	3,734	4,376
その他経常収益(注2)	616	544
その他基礎収益	—	17
<b>②基礎費用</b>	<b>16,015</b>	<b>15,693</b>
保険金等支払金	10,866	11,047
責任準備金等繰入額(注2)	2,217	1,900
資産運用費用(注2)	373	215
事業費	1,789	1,812
その他経常費用	768	717
<b>キャピタル損益 B</b>	<b>△1,161</b>	<b>△538</b>
<b>臨時損益 C</b>	<b>△207</b>	<b>△212</b>
<b>経常利益 A+B+C</b>	<b>729</b>	<b>1,820</b>

(注1) 2017年度上半期の開示から、マーケット・ヴァリュアー・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額および外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額に関して、経常利益の内訳の開示方法を変更しています。なお、この変更を2016年度上半期に適用すると、2016年度上半期の基礎利益は30億円増加、キャピタル損益は30億円減少となります。  
(注2) 損益計算書上の資産運用収益・費用、その他経常収益および責任準備金等繰入額のうち、キャピタル損益および臨時損益に相当する金額を除いています。

リスク管理債権額		
(単位:億円)		
区分	2016年度末	2017年度 上半期末
破綻先債権額	—	—
延滞債権額	42	34
3か月以上延滞債権額	—	—
貸付条件緩和債権額	157	151
<b>合計</b>	<b>200</b>	<b>186</b>
(貸付残高に対する比率)	0.43%	0.41%

基金等変動計算書(要旨)									
(単位:億円)									
	基金	基金償却積立金	うち基金償却準備金	うち中間未処分剰余金	剰余金合計	基金等合計	うちその他有価証券評価差額金		純資産合計
							評価・換算差額等合計		
2017年度期首残高	3,100	5,200	1,340	2,372	5,383	13,688	25,338	26,887	40,576
2017年度上半期中の変動額									
うち基金の募集	500	—	—	—	500	—	—	—	500
うち社員配当準備金の積立	—	—	—	△1,698	△1,698	△1,698	—	—	△1,698
うち基金償却積立金の積立	—	1,000	—	—	1,000	—	—	—	1,000
うち基金利息の支払	—	—	—	△18	△18	△18	—	—	△18
うち中間純剰余	—	—	—	1,027	1,027	1,027	—	—	1,027
うち基金の償却	△1,000	—	—	—	△1,000	—	—	—	△1,000
うち基金償却準備金の積立	—	—	620	△620	—	—	—	—	—
うち基金償却準備金の取崩	—	—	△1,000	—	△1,000	△1,000	—	—	△1,000
うち基金等以外の変動額	—	—	—	—	—	—	1,794	1,763	1,763
2017年度上半期中の変動額合計	△500	1,000	△380	△1,341	△1,689	△1,189	1,794	1,763	574
2017年度上半期末残高	2,600	6,200	960	1,031	3,694	12,499	27,133	28,650	41,150

## 明治安田生命プロフィール(2017年9月末)

<b>正式名称</b>	明治安田生命保険相互会社 Meiji Yasuda Life Insurance Company	<b>保有契約年換算保険料</b>	2兆2,481億円(個人保険・個人年金保険)
<b>創業</b>	明治14年(1881年)7月9日	<b>新契約年換算保険料</b>	602億円(個人保険・個人年金保険 2017年4月~9月)
<b>総資産</b>	37兆9,845億円	<b>社員(契約者)数</b>	6,600,133人
<b>基金総額</b>	8,800億円(基金償却積立金を含む)	<b>従業員数</b>	42,542人(うち営業職員「MYライフプランアドバイザー」31,958人)
<b>保有契約件数</b>	11,947千件(個人保険・個人年金保険)	<b>営業拠点数</b>	支社・マーケット開発部/89 営業部・営業所等/995 法人部/19(2017年10月1日)

ソルベンシー・マージン比率(注)			
(単位:億円)			
項目	2016年度末	2017年度 上半期末	
<b>ソルベンシー・マージン総額(A)</b>	<b>73,284</b>	<b>76,139</b>	
①基金等	11,940	11,614	
②価格変動準備金	5,775	6,465	
③危険準備金	6,815	6,878	
④一般貸倒引当金	13	13	
⑤(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%	31,669	33,873	
⑥土地含み損益×85%	3,107	3,280	
⑦全期チルメル式責任準備金相当額超過額	9,535	9,598	
⑧負債性資本調達手段等(劣後ローン、劣後債等)	3,533	3,533	
⑨その他(税効果相当額等)	893	882	
<b>リスクの合計額(B)</b> $\sqrt{(\text{⑧}+\text{⑨})^2+(\text{⑩}+\text{⑪}+\text{⑫})^2+\text{⑬}}$	<b>15,501</b>	<b>15,973</b>	
⑩保険リスク相当額	1,191	1,194	
⑪第三分野保険の保険リスク相当額	578	594	
⑫予定利率リスク相当額	1,467	1,457	
⑬最低保証リスク相当額	120	114	
⑭資産運用リスク相当額	13,473	13,951	
⑮経営管理リスク相当額	336	346	
<b>ソルベンシー・マージン比率</b> $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	<b>945.5%</b>	<b>953.3%</b>	

(注) 上記は保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

実質純資産額			
(単位:億円)			
項目	2016年度末	2017年度 上半期末	
<b>実質純資産額(注)</b>	<b>95,639</b>	<b>97,969</b>	
(一般勘定資産に対する比率)	26.0%	26.4%	

(注) 保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条第2項の規定に基づき算出しています。



# 明治安田生命は 「人に一番やさしい生命保険会社」を めざしています。

さまざまな取り組み等を、  
専用ページにてご紹介しています。

[QRコード]



## 「明治安田生命 2017 マイハピネス フォトコンテスト」のご案内

明治安田生命 2017

# マイハピネス フォトコンテスト



テーマ「あなたがいるしあわせ。」 [応募締切] 2018年1月31日

家族のふれあい、夫婦や恋人の愛情、人生の節目のよろこび、仲間や友人との感動・思い出など、「しあわせな瞬間(とき)」を撮った写真が対象です。2人以上、もしくは動物と一緒に撮影した写真をご応募ください。

[QRコード]



マイハピネス フォトコンテスト

検索

小田和正さんが歌うあのCMに、あなたの写真が



お問い合わせ

明治安田生命 マイハピネス フォトコンテスト事務局

TEL:047-413-9450

(受付時間) 月～金 10:00～17:00

※祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く

## LINEスタンプ配信のご案内



当社商品キャラクターの「ライト!くん」等を使用したLINEスタンプ「やさしい」スタンプ(手書きver.)を配信します。

[LINEスタンプの配信期間] 2017年12月5日～2018年1月1日

(使用期限はダウンロードから180日間となります)



※画像はイメージです



[QRコード]



## 「お客さま懇談会」のご案内

当社では、ご契約者のみなさまからご意見・ご要望等をいただく機会として2018年1月～3月にかけて「お客さま懇談会」を全国の支社等で開催します。ご出席を希望される方は、最寄りの支社、営業部・営業所、担当者までお知らせください。

## 公式WEBページのご案内

当社公式ホームページでは、生命保険に関する情報などさまざまなコンテンツをご用意しています。

明治安田生命

検索

[QRコード]



Facebookページでは、当社の幅広い取組みを紹介しています。

明治安田生命 Facebook

検索

[QRコード]



## Jリーグ公式アプリ「Club J.LEAGUE」 当社提供メニューのご案内

2017年8月から、Jリーグが新たに開発した公式アプリ「Club J.LEAGUE」のメニューとして「明治安田生命Jリーグチャレンジ」を提供しています。ぜひご利用ください。

ダウンロードは  
こちらから

[QRコード]



## 生命保険契約のお手続きに関するご照会

コミュニケーションセンター「お電話によるご相談窓口」



# 0120-662-332

月曜～金曜：9:00～18:00

土曜：9:00～17:00

(いずれも祝日・年末年始を除く)

明治安田生命カードの紛失・盗難のご連絡は24時間受け付けております。お問い合わせは契約者ご本人さま(給付金・保険金のご請求は被保険者さま、または受取人さま)からお願いいたします。

## 明治安田生命保険相互会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

TEL 03-3283-8111(代表)

http://www.meijiyasuda.co.jp/



\*当資料は、当社の経営活動や健全性・業績などを解説したディスクローチャー小冊子です。

# UD FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。



広報部2017.11